



## 会議議事録

会議名	2022年度 第2回 認知症対策検討委員会 会議
-----	--------------------------

### 開催概要

開催日時	2022年 10月 7日(金) (13:00 ~ 13:30)
開催場所	Web会議
出席者	担当常務理事/委員長: 田中 志子 副委員長: 山口 晴保 委員: 緒方千代美、坂野ゆかり、砂川直美、中間浩一、山本恵利香、吉田賢史、吉田大樹 敬称略

議事内容
<p><b>【議題】</b></p> <p>① 教育セミナー 認知症対策検討委員会企画研修について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・研修当日のスケジュール・内容の確認</li><li>・グループワークのテーマについて</li></ul> <p><b>【決定事項】</b></p> <p>① 教育セミナー 認知症対策検討委員会企画研修について</p> <p>○スケジュール・内容について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・参加者を11月22日まで募集。参加人数に応じてグループの作成を行う。</li><li>・委員の皆様にご各グループハファシリテーターとして参加していただく。</li><li>・グーグルスプレッドシートを使用しディスカッションを行う。</li><li>・参加者の募集を委員の皆様のご各コミュニティで行っていただく。</li><li>・山口先生が当日ご欠席のため、まとめ・コメントは田中先生からいただく。</li></ul> <p>○グループワークのテーマについて</p> <p>→ケアの場面を挙げ、その場面でのケアを振り返ってもらう。</p> <p>[・入浴・着替え・リハビリ・食事・排泄・夕暮れ時(徘徊・帰宅願望等)]</p> <p>各々の場面で見られるBPSDについて、参加者の皆様の悩ってしまったかもしれない場面や、研修を受けての解決策を話し合ってもらおう。</p> <p><b>【共有事項】</b></p> <p>○認知症ケア加算2・3 該当研修、[看護師のための認知症ケア講座]を開催予定。</p> <p>日程: 2023年2月14日・15日</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・2/14 [認知症の原因疾患と病態・治療] 講師: 山口晴保副委員長</li><li>・2/14 [入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術] 講師: 山本恵利香様</li><li>・2/14 [認知症に特有な倫理的課題と意志決定支援] 講師: 田中志子委員長</li><li>・2/15 [行動・心理症状(BPSD)、せん妄の予防と対応方法] 講師: 小池京子様・内海知加子様</li><li>・2/15 [コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法] 講師: 緒方千代美様</li></ul>



【議論内容】

・認知症対策検討委員会企画研修について話していく。まず、グーグルスプレッドシートについて。スプレッドシートは、参加者全員が Web 上で画面共有をしながら、書き込み・編集が出来るものとなっている。書記の負担の軽減や、意見交換がスムーズに行えると思う。研修会当日の参加人数が決まり次第、グループ数や発表時間の決定を行っていく。

委員の皆様には、各コミュニティの中での参加者の募集を行ってほしい。

当日の総括の件で、山口副委員長がご欠席のため行えないと連絡をいただいている。田中が行わせていただくということでよいか。(田中委員長)

→お願いします。伊東美緒先生は 10 月 1 日より教授になっている。(山口副委員長)

→ありがとうございます。確認します。(田中委員長)

・グループワークについて、テーマはどのようにするか。

研修のタイトルにもあるように不安をタイトルにするのはどうか。(山口副委員長)

→不安や BPSD について話し合うテーマについて、5 項目程度上げていきたいと思う。

ケアの項目別にするのが良いか、時間帯別に分けるのがよいか、話し合いやすいタイトルはあるか考えてほしい。(田中委員長)

→話しやすいのは、入浴の拒否や帰宅欲求に対してだと思う。実際にリハやケアで困っているのは何を訴えているかわからない不安な表情や、何か言いたい・伝えたいけど伝わってこない患者様の苛立ちなどと思う。(砂川)

→不安をあおる時は着替えの手伝いやモーニングケアなどの実際にスタッフが関わる、具体的な場面だと思う。提供しなければいけないケアに対する患者様との食い違いが日常に多いと思う。そういった具体的な ADL の場面が入口としては話やすいのではないか。(中間)

→話しやすい内容に関しては、ADL についてだと思う。実際にケアを行っている中では、意見の食い違い・うまく伝えられないことで誤解を生み苛立ちや・怒りが出てしまい、スタッフとの関係が崩れてしまうことなど多いと思う。感情面について考えるのも良いと思う。(吉田賢)

→朝・昼・夜などの時間帯によるケアやリハビリなどの生活の中で時間帯によってどのように変化するか関わってきて多く目にしている。時間帯によるケアについて話し合うことも良いと思う。(山本)

→話しやすいのは患者様の行動面だと思う。行っている場面や徘徊されている場面、コミュニケーションが取れない場面などが分かりやすい内容がテーマとしてよいのではないか。(緒方)



→入浴・着替え・食事などの場面で患者様との食い違いが起きることが多い。ADL の場面で話すのが良いかと思う。(坂野)

→リハビリへの誘導や、ADL 動作に他する介助・ケアの時に困ることが多いため、導入として話し合うのが良いと思う。(吉田大)

→「あなたの煽った体験を教えてください」などと問いかけてみるのはどうか。(山口副委員長)

→皆さんの意見をまとめると感情についての意見が多くでてくる。経験が多い方からの意見であるが、受講される方々が認知症ケアに慣れていない方々や BPSD を感情面まで踏み込んで考慮して関わっているかは問題が多いところでもある。そのため、ADL 動作の場面ごとに挙げるのが話しやすいと思う。入浴・着替え・リハビリ・食事・排泄・夕暮れ時(徘徊・帰宅願望など)のそれぞれの BPSD に対して煽ってしまったかもしれないと思う内容を挙げてもらうのはどうか。それに対して、講義を受けての対応策を話し合ってもらおう。この2点をまとめてもらうことで、課題の振り返りと、課題解決についてディスカッションを行っていく。資料については、大誠会の方で話し合ってから作成していく。(田中委員長)

・2023年2月14日・15日の日程(予定)で認知症ケア加算2・3該当研修を行う。講師として、山口副委員長、託麻台の緒方様・山本様、大誠会から田中・小池様が参加。日程に関しては確定次第お知らせしていく。(田中委員長)

次回予定	年	月	日 ( )	(	開始時刻 :	~	終了時刻 :	)
------	---	---	-------	---	-----------	---	-----------	---

議事録作成日	2022年10月7日	議事録作成者	吉田大樹
--------	------------	--------	------

委員会議事録は理事会資料として提出します。

会議終了後、1週間以内にメールで事務局へご提出ください。〔 提出先：[info@rehakyoh.jp](mailto:info@rehakyoh.jp) 〕